

キリスト教シオニズムへの加担の告白について

PCUSA第226回総会(2024年)において、総意により承認[INT-05]号

2004年に承認されたキリスト教・シオニズムに立ち向かう決議を更新し、拡大する。具体的には、神学・編成・伝道局を通じて総会に対し、以下のことを呼びかける。

A. あらゆる形態のキリスト教・シオニズムを拒絶する。

1. 付録A - 2004年のキリスト教・シオニズムの拒絶に関する決議を参照。
2. あらゆる形態のキリスト教・シオニズムの拡大している事実を認めること。

B. PCUSAの2004年の方針以来のキリスト教・シオニズムの拡大について、以下の事柄を含めて論じる研究文書を発行する。

1. 2004年以降のイスラエルとパレスチナに関する総会決議の記録を提供する。
2. 2004年の決議以来、キリスト教・シオニズムの危険性がどのように拡大されてきたか、特に以下の事項を取り上げる。
 - a.キリスト教が、聖書の「約束の地」に関する聖書の見解とイスラエル国家を、暗黙のうちに、時には明示的に結びつけている方法
 - b.イスラエルを聖書に記された王国としての単純に焦点を当てるキリスト教シオニズムの世界的な広がりおよび採用
 - c.紛争や占領ではなく、〈発見の教義〉言及した入植者植民地主義に対する理解の増大。これは、キリスト教シオニズムとのつながりに気づかないまま、主流派のキリスト教徒や他の信仰を持つ人々がそれに加担してしまうあり方を示している。

3.土地の奪取と先住民族の強制退去を正当化するイデオロギーを、イエスの教えと模範に基づいて拒絶し、十戒に基づく聖書の神学を指し示し、世界人権宣言に合致する、隣人愛と尊敬の倫理を支持する。出エジプト記20:17は、「隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛とろばなど隣人のものを一切欲してはならない」ことを明らかにしている。

4. PCUSAは典礼と教育を通じて、聖書のイスラエルと現代のイスラエル国家との間の基本的な区別を明確にし、両者の混同を避け、また、歴史的ユダヤ・シオニズムとは異なる、クリスチャン・シオニズムとして一般に知られている宗教的イデオロギーの有害な影響を助長するような混乱を減らすことを約束する。

C.総会に対し、キリスト教シオニズムの広がりによってそれぞれの文脈で対抗し、経験と資源を分かち合う空間を作っている世界中のパートナーと協力するよう、世界宣教局を通じて呼びかける。これには、キリスト教シオニズムが広がっている米国、アフリカ、アジアのパートナーと共にイベントを開催することが含まれる。

D.パレスチナとイスラエルのすべての人々のための完全かつ平等な人権を伴う公正な平和を提唱するよう、信仰を持つ人々に呼びかける。